

平成29年2月10日

## 学校評価アンケート結果について（お知らせ）

県立北須磨高等学校  
校長 小松原知子

はじめに

平素は学校教育にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。さて、このたび学校評価アンケートを行いましたところ多くの方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。結果についての簡単な説明と今後の方向性についてお知らせします。

### （1） 授業について

設問1,2,3の中で設問3「知的好奇心や学習意欲が高まるような授業」

が、生徒の否定的評価が43%でした。高校での授業は大学受験を意識したものが多く、難しいところではありますが、これはやはり大きな課題であると考えています。授業の満足度を上げるために進学型単位制高校としてのトータルプランを再構築する（カリキュラムマネジメント、キャリア教育によるモチベーションの高揚 ICT 機器の充実等）一方、実態の把握と授業改善のために生徒への授業アンケートを実施し、改善策をそれぞれの先生で考えてもらうことにしています。生徒は、アンケートには忌憚のない意見を表明してもらいたいと思います。

### （2） 課題について

設問4,5ですが、「課題をこなすことで学力がついている」と実感できない生徒が43%に上ります。「課題を出さなければ学力がつかないし、がんばらないのではないか」という教員の思いと「多すぎてはやる気がしない」という生徒の思いのズレをどう埋めるのかという課題があります。効果を上げるためには、生徒が「課題を理解し納得すること」が必要です。各教科、年次がよく話し合い、バランスのとれた課題の与え方や適切な内容、事後処理について再検討し、より効果的なものとして参ります。

### （3） 選択科目について

設問6の評価は比較的高いですが、設問7「ガイダンスを通じて進路意識が高まったか」については、22%の生徒が否定的です。キャリア教育、進路指導とより一体化したガイダンスを工夫します。

### （4） 先生とのコミュニケーションについて

設問8,9について「普段からのコミュニケーション」について32%「困ったときの相談」については、45%の生徒が否定的です。教員も30%を超える人が十分でないとい否定的です。この点についても大きな課題です。教員と生徒の距離が縮まるように、教員の積極的なアプローチや意識改革、支援体制の充実、コミュニケーション方法の工夫などをしていきます。

### （5）学習環境と自主性について

設問 10,11 は、生徒、保護者よりも教員の評価が低い傾向にあります。学習環境や学校行事の活性化については、リーダー研修等を行うことで生徒会組織を充実、行事ルールの見直しなどを行うとともに学校生活全般の中で「自主性を育てる」ことを中心に据えた学習の工夫をします。また、空調等学習環境の充実にも努めます。

#### (6) 制服について

設問 12 の「現在の制服」については、生徒、教員ともに 40%以上が不満を持っています。創立以来のもので新素材などへのリニューアルには、以前からの要望もありましたので、このたびデザインや生地等のリニューアルを行うこととしました。50 周年には 3 学年とも新制服で迎えられるように準備を進めます。

#### (7) 部活動の内容や活動時間について

設問 13 の部活動については、一部の部活動で活動時間が守られていない。ノ一部活動デーが実施されていないなど具体的な記述が多くありました。生徒指導部を中心に学習と両立できるよう改善を考えて参ります。また、具体的な部活動名があげられたものについては顧問にも伝え、活動計画の通知。練習メニュー等の工夫で効率のよい活動が実感できる体制作りなどをします。

#### (8) 情報発信について

設問 14 の学校の情報発信については、年次通信の内容やHPの更新、デザインなどについてご意見をいただきました。学校の様子がよくわかる年次通信や部活通信、各種便りの工夫とともに今後は広報・情報委員会を発足し、HP充実を進めます。

#### (9) あいさつについて

設問 15 の「気持ちのよいあいさつ」については、生徒にまだあまり意識されていないようですが、教員自身も含めて校内でのあいさつはもう少ししっかりしていきたいと考えています。

#### (10) 学校生活全般について

設問 16 「明るく充実した学校生活」という点で全般的には高評価ですが 15% の生徒が否定的であることの内容は、文章記載の内容との関連も含めて今後さらに分析していきます。

### 最後に

ここで触れることができなかった文章記載のご意見等についてもできるだけ今後の指導に活用して参ります。多くの生徒が集団で過ごす中では、それぞれの価値観の違いやニーズの違いがあります。また、どうにもならないことや社会で生き抜くためには厳しい対応が必要なこともあります。しかし、せっかくの高校生活 3 年間です。ちょっとしたことがきっかけで学校生活に暗い陰を落としたり、また反対に少しのことがきっかけで毎日が楽しくなったりというのは大人も子どもも同じです。いただいたご意見の実現には少し時間はかかるものもありますが、できる限り一人一人の生徒にとって充実した楽しい学校生活となるよう努めて参ります。また学校生活について何か気になることがございましたら、担任等を通じて遠慮なくお知らせください。

## 平成28年度 学校評価結果

- 1 実施日 平成28年10月
- 2 回答者・回答率 生徒713名(99%)、保護者576名(80.2%)、職員50名(98%)
- 3 評価段階 4: と思う 3: どちらかといえば思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない
- 4 総合評価 A: 達成している(3.1 < A ≤ 4.0) B: ほぼ達成している(2.6 < B ≤ 3.1)  
C: 努力を要する(1.0 < C ≤ 2.6) (評価は4点満点)

質問内容・結果	評価平均	総合評価																				
<p style="text-align: center;"><b>設問1: わかりやすい授業をしている先生が多い</b>      単位は、%</p> <p style="text-align: center;">■①そう思わない ■②どちらかといえばそう思わない ■③どちらかといえば思う ■④思う</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>設問1: わかりやすい授業をしている先生が多い (単位は%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>64%</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>4%</td> <td>23%</td> <td>62%</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>6%</td> <td>22%</td> <td>64%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	①	②	③	④	教師	0%	10%	64%	26%	保護者	4%	23%	62%	11%	生徒	6%	22%	64%	9%	生徒 2.76 保護者 2.84 教員 3.16	<b>B</b>
回答者	①	②	③	④																		
教師	0%	10%	64%	26%																		
保護者	4%	23%	62%	11%																		
生徒	6%	22%	64%	9%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問2: 教科指導に熱心な先生が多い</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>設問2: 教科指導に熱心な先生が多い (単位は%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>52%</td> <td>38%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>1%</td> <td>13%</td> <td>69%</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>3%</td> <td>11%</td> <td>62%</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	①	②	③	④	教師	0%	10%	52%	38%	保護者	1%	13%	69%	18%	生徒	3%	11%	62%	24%	生徒 3.08 保護者 3.03 教員 3.28	<b>A</b>
回答者	①	②	③	④																		
教師	0%	10%	52%	38%																		
保護者	1%	13%	69%	18%																		
生徒	3%	11%	62%	24%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問3: 知的好奇心を抱かせたり、学習意欲が高まるような授業が多い。</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>設問3: 知的好奇心を抱かせたり、学習意欲が高まるような授業が多い。 (単位は%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>54%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>3%</td> <td>28%</td> <td>62%</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>9%</td> <td>38%</td> <td>49%</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	①	②	③	④	教師	0%	30%	54%	16%	保護者	3%	28%	62%	7%	生徒	9%	38%	49%	5%	生徒 2.49 保護者 2.73 教員 2.86	<b>B</b>
回答者	①	②	③	④																		
教師	0%	30%	54%	16%																		
保護者	3%	28%	62%	7%																		
生徒	9%	38%	49%	5%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問4: 課題の内容と量とは学力をつける上で適切である</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>設問4: 課題の内容と量とは学力をつける上で適切である (単位は%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td>54%</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2%</td> <td>15%</td> <td>60%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>10%</td> <td>21%</td> <td>54%</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	①	②	③	④	教師	10%	10%	54%	26%	保護者	2%	15%	60%	23%	生徒	10%	21%	54%	15%	生徒 2.74 保護者 3.04 教員 2.96	<b>B</b>
回答者	①	②	③	④																		
教師	10%	10%	54%	26%																		
保護者	2%	15%	60%	23%																		
生徒	10%	21%	54%	15%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問5: 課題をこなすことで学力がついていると感じる</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <caption>設問5: 課題をこなすことで学力がついていると感じる (単位は%)</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>6%</td> <td>14%</td> <td>61%</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>5%</td> <td>20%</td> <td>57%</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>9%</td> <td>31%</td> <td>48%</td> <td>12%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	①	②	③	④	教師	6%	14%	61%	18%	保護者	5%	20%	57%	18%	生徒	9%	31%	48%	12%	生徒 2.61 保護者 2.89 教員 2.92	<b>B</b>
回答者	①	②	③	④																		
教師	6%	14%	61%	18%																		
保護者	5%	20%	57%	18%																		
生徒	9%	31%	48%	12%																		

<p><b>設問6: 自分の進路実現に応じた効果的な選択科目が準備されている</b></p> <p>教師 0% 4% 56% 40%</p> <p>保護者 3% 10% 56% 32%</p> <p>生徒 2% 9% 59% 30%</p>	<p>生徒 3.16</p> <p>保護者 3.16</p> <p>教員 3.36</p>	<p><b>A</b></p>
<p><b>設問7: 1年次の選択科目のガイダンスを通じて、進路意識が高まった</b></p> <p>教師 2% 10% 41% 47%</p> <p>保護者 4% 15% 56% 25%</p> <p>生徒 5% 17% 47% 30%</p>	<p>生徒 3.02</p> <p>保護者 3.02</p> <p>教員 3.33</p>	<p><b>A</b></p>
<p><b>設問8: 先生とは、普段から十分なコミュニケーションがとれている</b></p> <p>教師 2% 33% 47% 18%</p> <p>保護者 2% 12% 64% 22%</p> <p>生徒 5% 27% 56% 13%</p>	<p>生徒 2.76</p> <p>保護者 3.06</p> <p>教員 2.8</p>	<p><b>B</b></p>
<p><b>設問9: 人間関係などで困ったときに、相談できる先生がいる</b></p> <p>教師 0% 35% 49% 16%</p> <p>保護者 5% 22% 60% 13%</p> <p>生徒 16% 29% 45% 10%</p>	<p>生徒 2.48</p> <p>保護者 2.81</p> <p>教員 2.8</p>	<p><b>B</b></p>
<p><b>設問10: 自主的な学習に取り組みやすい学習環境が整えられている</b></p> <p>教師 6% 34% 46% 14%</p> <p>保護者 3% 15% 63% 19%</p> <p>生徒 4% 15% 61% 19%</p>	<p>生徒 2.95</p> <p>保護者 2.97</p> <p>教員 2.69</p>	<p><b>B</b></p>
<p><b>設問11: 学校行事等は、生徒の自主性が高められるよう工夫されている</b></p> <p>教師 6% 33% 45% 16%</p> <p>保護者 2% 10% 69% 19%</p> <p>生徒 4% 14% 59% 23%</p>	<p>生徒 3.02</p> <p>保護者 3.04</p> <p>教員 2.71</p>	<p><b>B</b></p>

<p style="text-align: center;"><b>設問12:現在の制服に満足している</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>Blue</th> <th>Red</th> <th>Green</th> <th>Purple</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>12%</td> <td>31%</td> <td>45%</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>13%</td> <td>21%</td> <td>44%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>19%</td> <td>22%</td> <td>44%</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	Blue	Red	Green	Purple	教師	12%	31%	45%	12%	保護者	13%	21%	44%	23%	生徒	19%	22%	44%	15%	生徒 2.55 保護者 2.77 教員 2.57	<b>B</b>
対象者	Blue	Red	Green	Purple																		
教師	12%	31%	45%	12%																		
保護者	13%	21%	44%	23%																		
生徒	19%	22%	44%	15%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問13:部活動の指導内容や活動時間は適切である</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>Blue</th> <th>Red</th> <th>Green</th> <th>Purple</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>4%</td> <td>24%</td> <td>62%</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>6%</td> <td>14%</td> <td>59%</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>8%</td> <td>14%</td> <td>54%</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	Blue	Red	Green	Purple	教師	4%	24%	62%	10%	保護者	6%	14%	59%	22%	生徒	8%	14%	54%	24%	生徒 2.95 保護者 2.96 教員 2.78	<b>B</b>
対象者	Blue	Red	Green	Purple																		
教師	4%	24%	62%	10%																		
保護者	6%	14%	59%	22%																		
生徒	8%	14%	54%	24%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問14:学校は、年次通信・HPなどを通して適切な情報発信を行っている</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>Blue</th> <th>Red</th> <th>Green</th> <th>Purple</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>2%</td> <td>10%</td> <td>58%</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>4%</td> <td>10%</td> <td>64%</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>2%</td> <td>9%</td> <td>61%</td> <td>27%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	Blue	Red	Green	Purple	教師	2%	10%	58%	30%	保護者	4%	10%	64%	22%	生徒	2%	9%	61%	27%	生徒 3.13 保護者 3.04 教員 3.16	<b>A</b>
対象者	Blue	Red	Green	Purple																		
教師	2%	10%	58%	30%																		
保護者	4%	10%	64%	22%																		
生徒	2%	9%	61%	27%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問15:校内で出会う教員、来客に気持ちよく挨拶ができています</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>Blue</th> <th>Red</th> <th>Green</th> <th>Purple</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>6%</td> <td>22%</td> <td>49%</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2%</td> <td>6%</td> <td>70%</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>2%</td> <td>14%</td> <td>59%</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	Blue	Red	Green	Purple	教師	6%	22%	49%	24%	保護者	2%	6%	70%	22%	生徒	2%	14%	59%	25%	生徒 3.07 保護者 3.11 教員 2.9	<b>B</b>
対象者	Blue	Red	Green	Purple																		
教師	6%	22%	49%	24%																		
保護者	2%	6%	70%	22%																		
生徒	2%	14%	59%	25%																		
<p style="text-align: center;"><b>設問16:明るく充実した学校生活を送っている</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>Blue</th> <th>Red</th> <th>Green</th> <th>Purple</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教師</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>64%</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>2%</td> <td>6%</td> <td>51%</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>5%</td> <td>10%</td> <td>54%</td> <td>31%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	Blue	Red	Green	Purple	教師	0%	10%	64%	26%	保護者	2%	6%	51%	41%	生徒	5%	10%	54%	31%	生徒 3.12 保護者 3.31 教員 3.16	<b>A</b>
対象者	Blue	Red	Green	Purple																		
教師	0%	10%	64%	26%																		
保護者	2%	6%	51%	41%																		
生徒	5%	10%	54%	31%																		
<p><b>【学校関係者評価委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価結果の生徒・保護者等へのフィードバックと改善プラン等はしっかりと伝えて欲しい。</li> <li>・学校評価結果アンケート項目の表現の仕方を来年度は、検討すべきである。三者の内容が全く同じでなくてもよいのではないか。</li> <li>・個人に設問するのか、集団として設問するのかをはっきりするような問い方にすべきである。</li> <li>・学校評価のそれぞれの項目に対して、記述欄を拡大したのは良かった。</li> <li>・学校評価結果をうけて、授業アンケート実施に踏み込んだことはよい。</li> <li>・熱心な先生は、多いが、わかりやすいとなると評価が少し落ち、好奇心・学習意欲になるとさらに落ちる。わかりやすい授業とは何か？どうやって好奇心を喚起するのか？追求することが必要である。</li> <li>・小学校では、「アクティブラーニング」は当たり前である。授業において、どうやって好奇心を喚起するのが一番の課題である。</li> <li>・課題が多すぎるとの評価結果がでているが、それでもかまわないのではないか。やらなければ、寝られないという厳しさも必要ではないか。</li> </ul>																						